

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-605

課題名 : 濾胞性リンパ腫における RNA 絶対定量による遺伝子発現シグニチャーの解析研究

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2021 年 12 月に当院で診療を受けた濾胞性リンパ腫、免疫不全に関するリンパ腫もしくはリンパ節の摘出を受けた方

2. 研究期間

2019 年 4 月 (倫理委員会承認後) ～2029 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 11 月 15 日

提供開始予定日 : 2025 年 11 月 15 日

4. 研究目的

濾胞性リンパ腫患者さんの病理検体を用いて腫瘍細胞の遺伝子発現を解析し、臨床経過と併せて解析することで、予後に関する発現パターンを検討します。

5. 研究方法

対象症例が過去に採取されたリンパ節などの病理検体を用いて発現解析を行います。臨床情報については、医療記録をあたり、検査所見や治療内容、経過等について情報を収集し、解析します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

試料 : 病理検体

情報 : 病歴, 検査所見, 治療内容 など

7. 外部への試料・情報の提供

本研究では、検体の一部を株式会社 LSI メディエンスに郵送し測定を委託します。その際、特定の個人を識別できることとなる記述等は削り匿名化します。

8. 研究組織

東北大学病院 : 福原規子
仙台医療センター : 勝岡優奈
仙台市立病院 : 山本譲司
宮城県立がんセンター : 佐々木治
大崎市民病院 : 高橋太郎
石巻赤十字病院 : 中嶋真治

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。使用する研究費は科学研究費補助金で、本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院検査部 加藤浩貴

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7165

当院の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科血液内科学 福原規子

研究代表者：東北大学大学院医学系研究科血液内科学 福原規子

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合